



とうばえ せいちゃ

とうばえ

かおり

## (株)東八重製茶 専務 東八重 香織さん

鹿児島県志布志市有明町

取材日：H29.10.26



東八重製茶の茶畑にて

志布志市有明町産のお茶を若い人に広げるため、明確な経営ビジョンを育てている取組みを紹介します。

### ◆プロフィール

#### 【取組みのきっかけ】

平成13年に結婚し、東八重製茶の経営に携る。長男が保育園に通い始めてから鹿児島市や鹿屋市で開催される農業セミナーを2年間で50回近く受講。

書道「遊書体」師範免許を取得。

平成29年4月に法人化し、同時に専務取締役就任。

#### 【主な受賞歴】

平成26年10月鹿児島県大隅「食のおみやげ」コンテスト優秀賞受賞

#### 【活動歴】

大隅広域観光開発推進会議

(DMO) 東部産業部副部長

#### 【その他】

- ・鹿児島県志布志市ふるさと納税返礼品
- ・JR九州クルーズトレインななつ星で「武士の紅茶」提供

### ◆“東八重製茶”の経営担当

パッケージにこだわったきっかけは、初めて参加した信用金庫主催の商談会で百貨店のバイヤーと出会い、「大阪の百貨店のオリジナルパッケージでプロモーション販売をして欲しい。」という依頼を受けたことからでした。

まずは、客層、年齢層、目的、価格、内容量などのマーケティング調査から始め、売り場のスタッフやバイヤーからアドバイスを頂きながら商品作りを手掛けました。その中で、百貨店、観光地、物産館と売り場が変われば、その客層に合わせた商品展開が必要ということに気づきました。そこで、販路開拓の手段の一つとして、「PB商品」を小ロットで手掛け、トライ&エラーの方法で地道に売り場を確保してきました。

平成29年に法人化し、早期に経営移譲し、各自責任を持って働くようになりました。苦労した点は、私達夫婦と父との意見の違いがあったことです。初めの頃は、父の意見を否定するようなことが多く、お互いぶつかってばかりでしたが、納得いくまで話合ったことで、今はお互い認めながら、尊重し合えることができていると思います。父と夫がしっかりと委譲できたことで周りの同業者からも一目置かれるようになり、信頼を得ているように感じています。また、家族で役割を明確にしたことで、問屋など、取引先への対応も早くなり、良い方向で仕事に繋がってきています。

## (株)東八重製茶について

名称：株式会社 東八重製茶

従業員：正社員2名、

パート・アルバイト等20名（うち女性5名）

経営規模：自社茶畑15ha、契約ほ場7ha

所在地：鹿児島県 志布志市有明町伊崎田130

電話番号：099-474-0218

HP, オンラインショップ：<http://toubae-cha.com/index.html/>

E-mail：[kaori.toubae-cha@btvm.ne.jp](mailto:kaori.toubae-cha@btvm.ne.jp)

認証：ISO9001、J-GAP、K-GAP、SAGP取得、  
かごしま茶商標認定茶 有機JAS移行中



取組みのきっかけ“おいどんシリーズ”のお茶

### ◆目立つパッケージで受賞

お茶離れが進んでいる若い世代に、まず手に取ってもらうためのきっかけとして、パッケージに工夫をした自社加工の緑茶・紅茶・ウーロン茶の「おいどんシリーズ」を作りました。

パッケージデザインのコストを押えるため、書道の師範免許を取得し、独学でデザインから印刷まで手掛けました。

苦勞が実り、「おいどんシリーズ」は、平成26年に鹿児島県大隅「食のおみやげ」コンテストで優秀賞を受賞しました。

### これからの女性農業者へのメッセージ

何も無いところから始めるのは、困難や苦勞がつきものです。自分のやりたい夢や目標があるならば、道標になるビジョンを持つことが大事だと思います。私は、セミナーでなりたい自分を映像化し、常にイメージするトレーニングを学びました。セミナーは言われて受けるものではなく、自分が受けた授業にお金を払うつもりで積極的に受けて必ず実践すること。向き不向きはあると思いますが、自分に必要な手段なら時間をかけて継続していけば、必ず報われます。楽しく苦勞を重ね、夢を形にしていって欲しいと思います。



鹿児島県の世界遺産認定「仙巖園」のみで販売している“武士の紅茶”

### ◆ネットワークの広がり

大隅広域観光開発推進会議（DMO）に所属し、東部産業部副部長を務めています。観光分野に興味を持つようになり、地域の観光資源を活かす取組みを模索中です。

また、仲間ができ、共同開発やコラボ商品、イベント企画なども手掛けるようになりました。人脈が広がったご縁から頂いた仕事を誠心誠意取り組み、それを誰かが見ていてくれて、そこから繋がる仕事も多々あります。

小学校に上がった息子の子育てと仕事を両立することが今の課題です。



### 今後の目標

まず基盤であるお茶の製造と裏作での収益をあげるために工場の増築と設備投資を行います。また、京都祇園でオープンするカフェ・老舗北川半兵衛商店にオリジナル紅茶が採用となったので、うまくPRしながら販路を広げていきたい。小さく始めて大きく育てる精神と、ここでしか手に入らない、ここでしか作れない希少価値のある商品作りを、一つ一つ丁寧に取り組んでいきたいです。